

滝野地域小中一貫校の愛称が「滝野学園」に決まりました

令和10年(2028年)に滝野地域の小中一貫校が開校します。滝野地域の小中一貫校が、地域の人から愛され親しまれる学校になるように、愛称を募集しました。愛称は、令和6年9月2日から9月30日までの約1か月間、滝野地域の小中学校や滝野公民館、教育委員会事務局の窓口に応募箱を設置して募集しました。応募箱への投函やメール、FAX等で、67人の方(児童生徒53人、一般・教職員14人)から31点(重複あり)の愛称候補が寄せられました。

選定にあたっては、以下の5点から1つ以上該当するものとししました。

- (1) 地理的にイメージできるもの
- (2) 歴史、文化、特徴を表したものの
- (3) 住民の理想や願いを大切にしたもの
- (4) 住民が親しみやすいもの
- (5) その他滝野地域小中一貫校としてふさわしいもの



応募された、31点の愛称は、令和6年11月12日に開催された、第5回学校運営委員会において、3点(「滝野学園」「たきの学園」「滝野闘龍学園」)に絞られました。その後、同日に開催した第9回開校準備委員会において「滝野学園」が選出されました。

選出された「滝野学園」には「滝野の地名を残したい」「昔から馴染みがあるから」など、ふるさと思ふ気持ちが込められていました。他の候補にも「加古川に育まれた地域で子どもたちが健やかに成長して欲しい」「自信をもって輝かしい未来を切り拓いて欲しい」「闘龍灘の勇壮さにあやかって、元気に健やかに学び育て欲しい」など、子どもたちに対する温かい気持ちが込められていました。

多くの人の願いがこもった愛称は、11月28日に開催された定例教育委員会において承認され、「滝野学園」が、正式に滝野地域小中一貫校の愛称に決まりました。

愛称は、地域の人や子どもたちが親しみを込めて呼ぶ呼び方です。今後、愛称をもとに、校歌や校章を決めていく予定です。



出前授業を実施しました

加東市では、小学生が円滑に中学校生活を送れるように、平成27年度から出前授業を実施しています。今年度で10年目を迎え、これまで80回以上実施してきました。

今年度の滝野地域においても、10月から1月にかけて4回の出前授業を行います。

10月には、滝野東小学校の先生が滝野中学校で国語科「百人一首」の授業を実施しました。恋の歌を4つ抽出し、当時の人々の思いを想像しました。出前授業を受けた中学生からは、「久しぶりに〇〇先生に出会えて嬉しかった」「百人一首を学べて楽しかった」といった感想が聞かれました。12月には、滝野中学校の先生が滝野東小学校で家庭科の授業を行い、日本の食文化や行事食について学習しました。授業を受けた小学生からは「おせち料理づくりを手伝いたい」といった感想が聞かれました。今後は、1月に滝野南小学校で滝野中学校の先生による国語科の授業、滝野中学校で滝野南小学校の先生による社会科の授業が予定されています。



滝野学園 工事の進捗状況について

滝野学園の設計が完成に近づき、来年度の秋頃から新校舎の建設工事が始まります。

滝野学園は今の滝野中学校の敷地を拡張して、小学生が新たに入ってきてても十分活動できる広さを確保します。現在は先行工事として、その拡張する土地の田んぼ等を、来年度から建設工事ができるように造成しています。

1月からは、滝野中学校の北側に設置する新しいテニスコートの整備工事と、滝野中学校に隣接した旧保健センターの解体工事をを行います。新しいテニスコートの整備が終われば、現在のテニスコートを解体し、部活動は新しいテニスコートで行われることとなります。



③水路付け替え工事の状況

また、滝野中学校の南側では水路の工事を行っています。滝野中学校のテニスコートの下を通っている大きな水路は新たに付け替え、敷地の外周を通るようになります。元々は開いた水路でしたが、地中に埋めて、子どもが入り込むことや転落を防止します。

これから滝野学園開校までの間、中学校周辺は工事が続くことになります。中学生の学校生活の妨げにならないよう、最大限の配慮を行い、安全第一で工事を進めます。

また、滝野中学校の保護者の皆様、近隣の方々におかれましても、ご不便、ご迷惑をかけることがあるかとは思いますが、ご協力の程お願い申し上げます。